

### 金尾 恭士 議員

#### 持続性のある畑地かんがい施設に

川上畑地かんがい施設について

**金尾** 利用面積の減少、施設の老朽化に伴う今後の管理運営をどう行うのか。

**産業経済部長** トマト・ブドウなどの栽培にはなくてはならない施設。大竹ダムから高山の貯水池まで水道施設も兼ねている。消火用水源としても使用される。大規模な更新に取り組む場合は、財政的に支援していく。

#### 川上医療センターについて

**金尾** 西部地区における持続可能な今後の医療のあり方についての考えを問う。

**副市長** 地域医療がまちづくりにつながり、住民の意識が上ががり、地域医療への厚い信頼につながっ

ている。市としては十分に配慮しながら、持続可能な医療が続けられるよう支援していきたい。

#### ひきこもりについて

**金尾** ひきこもっている方の状況把握と、具体的な支援策を考えているのか。

**健康福祉部長** 令和元年度に125名を把握している。寄り添い、理解を深め、関心を持っていくために、広報もしていく。また、サポーターの人材養成は、吉備国際大学、社会福祉協議会、民生委員など関係機関と連携していきたい。地域活動支援センターI型との関連を含め、考えていきたい。

※地域活動支援センターI型 精神保健福祉士など専門職員を配置し、創作活動、生産活動の機会を提供。社会との交流や結びつきを行う事業。

### 川上 博司 議員

#### ワクチン接種計画の迅速な策定を

#### 新型コロナウイルスワクチン接種について

**川上** 接種計画の策定が必要であるが、どのように進めているのか。

**健康福祉部長** 接種計画の概要は実施期間、対象者、医療従事者などの確保、接種者の安全性の確保等となっており、医師会との協議を進め、準備している。

**川上** 市民はどのようにして、接種できる医療機関や接種会場を選ぶことができるのか。

**健康福祉部長** 接種券を送付する際に、接種機関の一覧表を同封する。新型コロナウイルス感染症ワクチンは数量、取り扱いに制約があることから完全予約制で対応する予定で、希望の医療機関で申し



込むことになるが、かかりつけ医がある方はそちらで接種していただきたい。

**川上** 個別接種が原則とのことだが、集団接種とどのように組み合わせさせていくのか。

**健康福祉部長** 個別接種だと副反応の対応が迅速にできるので原則としている。しかし、全市民を対象とした接種となるので、個別接種を補完する形で、かかりつけ医がない方を対象として日曜日に集団接種を行っていききたい。



### 平松 久幸 議員

#### 落合雨水ポンプ場の1日も早い完成を

#### 防災について

**平松** 落合町阿部地区、玉川町玉地区、松山広瀬地区への防災をどのように考えているか。

**政策監** 阿部、玉、広瀬地区では被害が甚大で、河川からの浸水、内水の被害もあった。抜本的に対策するには河川改修工事。内水排除は整備が必要。洪水対策は県が策定している高梁川中上流プロジェクト河川整備計画の中で行われる。この計画で2年前と同等の出水があっても浸水被害の解消または軽減が図られる整備を計画している。

**平松** 県策定の河川整備計画はいつ頃完成するのか。

**政策監** 昨年3月に素案はできたが、新型コロナウイルスの関係もありいつできるかは明確でない。

#### 落合雨水ポンプ場について

**平松** 落合雨水ポンプ場は30年7月豪雨相当の雨量に対応可能か。

**市長** 新年度予算に計上している。落合地区の内水排除は、降雨量1時間53mmを想定している。30年7月豪雨は35mmであった。河川からの越水があったので浸水被害が広まった。外水（河川の氾濫）の影響は設計に反映できていない。

**平松** 外水を想定した排水量に見直してもらいたい。

**市長** 外水がどれくらい来るのかは想定が難しい。それよりは、県事業の堤防の整備など、併せて行うことが必要。かさ上げは今も強く要望している。

**平松** 1日も早いポンプ場整備を強く求める。

### 新倉 淳 議員

#### 「冬どり玉ねぎ」の普及に継続的実証栽培を要望する

#### 本市の農業について

**新倉** 新規作物「冬どり玉ねぎ」の実証栽培の取り組みと、導入までの経緯を問う。

**市長** 平成27年から、協定に基づいて実証栽培を始めている。冬場の農閑期に収穫できる補幹作物として、農家の所得向上につながるかと考えている。冬取り玉ねぎは甘味もあり、食味も良く非常においしく、希少な品であると認識している。

**新倉** 平成27年度から計6回実証栽培を行ったが、初期の頃は育成不足のため失敗もあったと聞いている。成果が出たのはここ数年であり、実証栽培も終了と聞かすが今後の事業継続の見込みは。



**市長** 市の広報紙などを活用して、市民の皆様方に「冬どり玉ねぎ」を周知していく。今年度、実証栽培参加者のアンケート調査を実施し、その結果と合わせて作業ごよみを作成する。多くの市民に「冬どり玉ねぎ」を栽培していただきたいと考えている。

**新倉** 市長の答弁と重複するかもしれないが、市民にもっと周知してほしい。そして実証栽培の継続を求めるとともに新規の方にセツト球（子球）の無料配布を要望する。どんな作物でも長い年月をかけて定着させれば、産地形成がなされるものと思う。そして、農政全般において、より一層の行政のバックアップを切望する。

### 平松 久幸 議員

#### 落合雨水ポンプ場の1日も早い完成を

#### 防災について

**平松** 落合町阿部地区、玉川町玉地区、松山広瀬地区への防災をどのように考えているか。

**政策監** 阿部、玉、広瀬地区では被害が甚大で、河川からの浸水、内水の被害もあった。抜本的に対策するには河川改修工事。内水排除は整備が必要。洪水対策は県が策定している高梁川中上流プロジェクト河川整備計画の中で行われる。この計画で2年前と同等の出水があっても浸水被害の解消または軽減が図られる整備を計画している。

**平松** 県策定の河川整備計画はいつ頃完成するのか。

**政策監** 昨年3月に素案はできたが、新型コロナウイルスの関係もありいつできるかは明確でない。

#### 落合雨水ポンプ場について

**平松** 落合雨水ポンプ場は30年7月豪雨相当の雨量に対応可能か。

**市長** 新年度予算に計上している。落合地区の内水排除は、降雨量1時間53mmを想定している。30年7月豪雨は35mmであった。河川からの越水があったので浸水被害が広まった。外水（河川の氾濫）の影響は設計に反映できていない。

**平松** 外水を想定した排水量に見直してもらいたい。

**市長** 外水がどれくらい来るのかは想定が難しい。それよりは、県事業の堤防の整備など、併せて行うことが必要。かさ上げは今も強く要望している。

**平松** 1日も早いポンプ場整備を強く求める。